

川崎医療福祉大学  
(シラバス)

加齢と機能				熊倉 勇美
履修年次:1~4	2単位	春学期(前期)	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 医療福祉に関わる専門職として、発達を含めて「加齢」に関するさまざまな専門領域の基礎的知識を学ぶ。				
<b>【授業内容】</b>				
1解剖学的加齢変化		9生理学的加齢変化		
2咀嚼機能の発達と老化		10小児の構音・嚥下機能の発達		
3加齢と栄養		11聴覚機能の加齢変化		
4聴覚障害とそのリハビリテーション		12運動機能の加齢への対応		
5小児の心身発達		13高齢者のQOL		
6加齢と神経心理学		14筋力の加齢変化		
7音声・構音機能の加齢変化		15摂食・嚥下機能の加齢変化		
8高齢者の視覚障害とそのリハビリテーション				
<b>【テキスト】</b> プリントを配布する。				
<b>【参考図書】</b> 講義中に適宜紹介する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 受講態度(出席状況を含む)・その他：100%(リアクションペーパーの提出を出席点と見なす。) 評価方法コメント：リアクションペーパーの内容も、吟味されるので、ペーパーを提出さえすれば良いと考えること。無断の遅刻、早退は3回で欠席1回と見なす。				

ヒューマンセクシャリティー論				池田 理恵
履修年次:1~4	2単位	春学期(前期)	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 人間の性について多角的な視点から捉える。本講義を通じて、個々の性と生のありかたを尊重する意識を育てる。				
<b>【授業内容】</b>				
1母乳育児支援		9性の多様性ー同性愛ー		
2障害者の性と性		10性の多様性ー性同一性障害(MTF)ー		
3自分を知るーキャリア形成とコミュニケーション能力		11性の多様性ー性同一性障害(FTM)ー		
4女性のメンタルヘルスと相談活動		12老人の性		
5思春期の性教育		13男性の性		
6精神障害と性差		14犯罪学とセクシャリティー		
7性の多様性ー性分化疾患ー		15避妊と性感染症予防		
8低出生体重児の増加とその要因				
<b>【テキスト】</b> なし				
<b>【参考図書】</b> なし				
<b>【成績評価の方法】</b> 定期試験：60% 受講態度(出席状況を含む)・その他：40%(毎回リアクションペーパーを課します) 評価方法コメント：外部講師が多いので、受講マナーには十分気をつけてください。私語、携帯の使用など、退出させる場合もあります。30分以上の遅刻は欠席とします。				

環境と社会				近藤 芳朗
履修年次:1~4	2単位	春学期(前期)	1コマ	
<b>【授業の目的】</b>				
(1)グローバルな地球環境問題についての認識を深めること。 (2)日常身の医学的環境問題についても認識を深めること。				
<b>【授業内容】</b>				
1「ガイダンス」および「地球環境の歴史」				
2「現代文明社会と犯罪」毒と薬のかかわり				
3「情報社会とコンピュータ」情報化社会とネットワーク, コンピュータウイルスとハッカー, セキュリティーと暗号				
4「国際化社会および光社会と体内時計」時差ボケ				
5「現代社会と寄生虫」新興感染症と再興感染症				
6「アレルギーと寄生虫」花粉症の増加と寄生虫症の因果関係				
7「社会生活における放射線」放射線の基礎知識				
8「現代の科学・技術」アポロ計画と月面着陸				
9「地震と災害」スマトラ島大津波・東北地方太平洋沖地震				
10「核と社会」核兵器・原子力発電				
11「バイカル湖から見た環境と社会」バイカル湖の生態				
12「遺伝子技術と社会」				
13「現代の地球環境問題1」温暖化、エルニーニョ				
14「現代の地球環境問題2」フロン、オゾン				
15「ガリレオの宗教裁判と米国の科学教育論争」				
<b>【テキスト】</b>				
プリントを配布する。				
<b>【参考図書】</b>				
なし				
<b>【成績評価の方法】</b>				
定期試験：50%				
受講態度(出席状況を含む)・その他：50%(感想文の量と質により評価する)				
評価方法コメント：毎回提出する感想文の内容と筆記試験を総合して成績の評価を行う。				

睡眠学				保野 孝弘
履修年次:1~4	2単位	秋学期(後期)	1コマ	
<b>【授業の目的】</b>				
(1)ヒトの睡眠・覚醒リズム及び睡眠の基礎的な特徴を説明できる。 (2)快適な睡眠を得るための科学的方法を理解し、日常生活で活用できる。 (3)高齢者、心身障害者や、医療従事者(夜勤など)の睡眠の特徴や問題点を理解し、その対処方法を考える。				
<b>【授業内容】</b>				
1睡眠研究の歴史と研究法				
2睡眠の解剖と生理				
3睡眠と夢見				
4睡眠と学習・記憶				
5睡眠の個人差				
6睡眠と生体リズムの発達				
7眠気と昼寝				
8睡眠障害				
9子どもの睡眠とその問題				
10中・高齢者の睡眠とその問題				
11心身障害と睡眠				
12施設生活者の睡眠健康				
13労働現場の睡眠健康				
14快眠法と睡眠健康教育				
15寝室・寝具デザインと睡眠				
<b>【テキスト】</b>				
なし				
<b>【参考図書】</b>				
HP上に参考図書や資料などをご紹介します。				
<b>【成績評価の方法】</b>				
定期試験：70%(レポート課題です。)				
受講態度(出席状況を含む)・その他：30%(リアクション・ペーパーの提出、及びその内容を出席点とします。)				
評価方法コメント：毎回のリアクション・ペーパー、及びレポート課題の結果を総合して評価します。原則として、受験資格は、大学の規定に従います。				

健康と音楽				田中 順子
履修年次:1~4	2単位	秋学期(後期)	1コマ	
<b>【授業の目的】</b>				
音楽療法の基礎と各分野での音楽療法について知識を深め、さらに、自分が進む分野での治療的応用を考えることができる。また、実際の音楽体験を通して音楽の持つ力を感じ、人と音楽との関係を考えることができる。				
<b>【授業内容】</b>				
1音楽療法 総論 音楽療法とは				9西洋音楽と音楽療法
2地域社会における音楽療法				10緩和ケアと音楽
3創造的音楽療法				11音楽ゲストを迎えて
4精神障害領域の音楽療法				12感覚と音楽, 言語と音楽
5コミュニティ音楽療法				13音楽療法場面の実際
6音楽療法の評価				14集団での音楽療法 実践
7高齢者における音楽療法				15音楽療法の課題と将来
8集団での音楽療法 理論				
<b>【テキスト】</b>				
資料を配布する。				
<b>【参考図書】</b>				
篠田 知璋; 米倉 裕子; 松井 紀和; 岸本 寿男; 岡崎 香奈; 日野原 重明; 青 拓美; 板東 浩『新しい音楽療法—実践現場よりの提言』(音楽之友社)(2001)				
日野原重明監修, 篠田知璋, 加藤美知子編『標準音楽療法入門(上)理論編』(春秋社)(1999)				
日野原重明監修, 篠田知璋, 加藤美知子編『標準音楽療法入門(下)実践編』(春秋社)(1999)				
<b>【成績評価の方法】</b>				
受講態度(出席状況を含む)・その他:100%(リアクションペーパーの提出をもって出席とする。)				
評価方法コメント:10分以上の遅刻・早退は3回で欠席1回と見なす。				